

令和 7 年度  
内子町の観光に関する住民意識調査  
結果報告書



内子町（町並・地域振興課）

# 1. 調査概要

## ■ 調査概要

### (1) 調査の背景と目的

コロナ禍を経て観光需要が国内外で急速に回復し、一部地域ではオーバーツーリズム（観光公害）が課題となる中、内子町では「持続可能な観光」の実現を目指しています。

本調査は、「持続可能な観光」の取り組みの一環として、観光が地域に及ぼす負荷を抑制しつつ経済波及効果や人的交流を促進するため、観光に関する地域の実態と住民の意識を把握することを目的として実施しました。

### (2) 調査の実施内容

- ・調査対象：内子町在住の18歳以上の男女 1,100人（無作為）
- ・調査期間：令和7年10月24日（金）～12月10日（水）
- ・調査手法：郵送配布によるアンケート調査（返信封筒またはWeb回答フォームで回答）

### (3) 回収結果と信頼性

- ・有効回答数：526件
- ・有効回収率：47.8%
- ・令和7年9月末時点の町人口（14,444人）に対し、統計的な信頼度95%以上を確保した精度の高い調査結果となっています。

### (4) 調査結果の活用

本調査で得られた回答は、今後の内子町における観光振興計画の推進や、持続可能な観光行政の指針として幅広く活用させていただきます。

## ■ アンケート配布の概要

年齢属性	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
	20件	73件	90件	162件	176件	216件	218件	145件
地域属性	内子地区			五十崎地区			小田地区	
	607件			358件			135件	
性別属性	男性				女性			
	546件				554件			

## 2.回答者プロフィール（性別・年代）

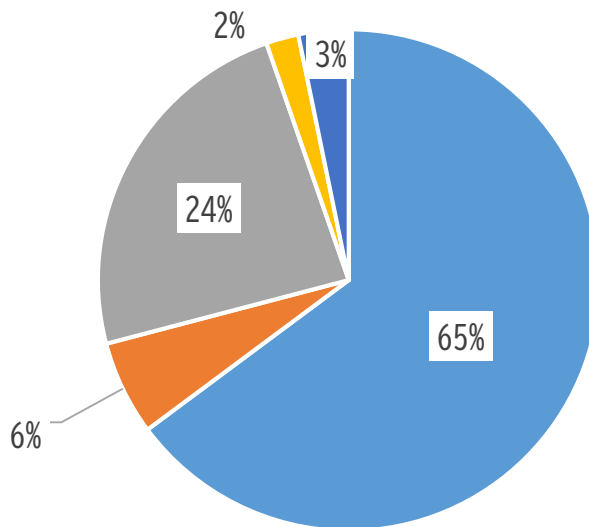
- 回答者の性別は「女性」の割合が56%を占めている。
- 回答者年齢は「70代」の割合が25%と高くなっているが、10代以下を除くどの年代からも満遍なく回答を得られた。なお、今回のアンケート対象を18歳以上としたため、10代へのアンケート送付は、18歳と19歳のみで20名となっている。
- 地域別では、「内子地区」が59%となり最も多く、無作為に抽出したアンケート対象者の割合が、「内子地区」55.2%、「五十崎地区」32.5%、「小田地区」12.3%であり、発送数に比例して、どの地区からも均等に回答を得られた。

全体		男性	女性	答えたくない	合計		
		226件	292件	8件	526件		
		42%	56%	2%	100%		
年代 ※無回答1件	10代 1%	4件	2件	0件	525件		
	20代 4%	8件	15件	0件			
	30代 9%	10件	36件	0件			
	40代 14%	28件	40件	3件			
	50代 15%	43件	32件	1件			
	60代 21%	48件	63件	1件			
	70代 25%	60件	70件	2件			
	80代以上 11%	24件	34件	1件			
	地域 ※無回答7件	内子地区 59%	131件	172件		4件	519件
		五十崎地区 30%	65件	86件		3件	
小田地区 11%		29件	28件	1件			

### 3.回答者プロフィール（成育歴）

- 回答者は「生まれてから大半を内子町で過ごしている」が最も多く65%を占めている。
- 回答者の定住性：回答者の65%が「生まれてから大半を内子町で過ごしている」層であり、地域に根付いた住民の意見が反映されている。

生まれてから大半を内子町で過ごしている。（Uターンを含む）	341件 65%
仕事などで転入した。	32件 6%
結婚などで転入した。	125件 24%
内子町を気に入って移住した。	11件 2%
その他	17件 3%

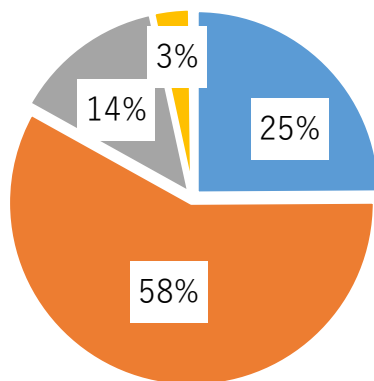


- 生まれてから大半を内子町で過ごしている。（Uターンを含む）
- 仕事などで転入した。
- 結婚などで転入した。
- 内子町を気に入って移住した。
- その他

## 4.全体的にみて、内子町は住みやすいと感じますか。

- 回答者全体の83%の人が内子町を「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答している。
- また、「内子町は住みやすいと感じているか」と「成育歴」を比較したところ、成育歴に関係なく「内子町を住みにくい」と回答している人はほとんどなく、成育歴に関わらず町への満足度は高い状態にある。

	生まれてから大半を内子町で過ごしている。 (Uターンを含む)	仕事などで 転入した。	結婚などで 転入した。	内子町を気に入って 移住した。	その他
とても 住みやすい。	92件	7件	26件	3件	3件
25%	17%	1%	5%	1%	1%
どちらかといえば 住みやすい。	199件	17件	77件	7件	6件
58%	38%	3%	15%	1%	1%
どちらとも いえない。	44件	6件	17件	1件	3件
14%	9%	1%	3%	0%	1%
どちらかといえば 住みにくい。	6件	2件	5件		4件
3%	1%	0%	1%	0%	1%
とても 住みにくい。					1件
0%	0%	0%	0%	0%	0%

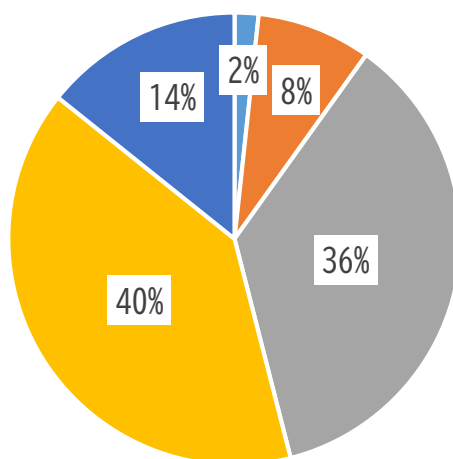


- とても住みやすい。
- どちらかといえば住みやすい。
- どちらともいえない。
- どちらかといえば住みにくい。
- とても住みにくい。

## 5.あなたは普段、観光客と接する機会はありますか。

- 仕事やボランティアで観光客と接することがあるとの回答は全体の10%である。「普段から観光客をよく見かける。」との回答を加えると、全体の46%の人が日常的に観光客を見かけている。
- 一方で、ほとんど観光客を見かけることがないとの回答は14%にとどまっている。

ボランティアやガイドなど、本業以外で観光客との関わりがある。	9件	2%
仕事などで観光客との関わりがある。	43件	8%
普段から観光客をよく見かけるが、関わりはない。	190件	36%
普段の生活で、たまに観光客を見かけることがある。	209件	40%
普段の生活で、観光客を見かけることはほとんどない。	75件	14%



- ボランティアやガイドなど、本業以外で観光客との関わりがある。
- 仕事などで観光客との関わりがある。
- 普段から観光客をよく見かけるが、関りはない。
- 普段の生活で、たまに観光客を見かけることがある。
- 普段の生活で、観光客を見かけることはほとんどない。

## 5.あなたは普段、観光客と接する機会がありますか。（地区別）

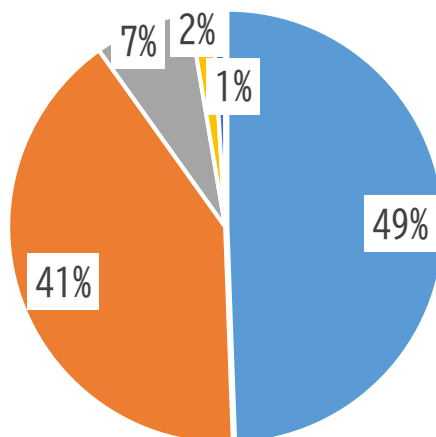
- 日常的に観光客を見かける機会が多いとの回答は全体では46%であった。
- 観光客と接する機会について地区別に分析すると、内子地区（61%）が最も高く、五十崎地区（28%）や小田地区（22%）では低い傾向にある。

	内子地区	五十崎地区	小田地区	地区無回答
	307件	154件	58件	7件
ボランティアやガイドなど、本業以外で観光客との関わりがある。	8件		1件	
地域のうちの割合（回答/地区）	3%	0%	2%	0%
仕事などで観光客との関わりがある。	33件	7件	3件	
地域のうちの割合（回答/地区）	11%	5%	5%	0%
普段から観光客をよく見かけるが、関わりはない。	145件	35件	9件	1件
地域のうちの割合（回答/地区）	47%	23%	15%	14%
普段の生活で、たまに観光客を見かけることがある。	99件	79件	27件	4件
地域のうちの割合（回答/地区）	32%	51%	47%	57%
普段の生活で、観光客を見かけることはほとんどない。	22件	33件	18件	2件
地域のうちの割合（回答/地区）	7%	21%	31%	29%

## 6. 観光地として内子町が評価されることは、嬉しいと感じますか。

- 内子町が観光地として評価されることについて尋ねたところ、90%の人が「とても嬉しい」、「どちらかといえば嬉しい」と回答した。
- 地区別の関係を調べたところ、観光客との関わりが比較的少ない「五十崎地区」や「小田地区」でも、約9割の人が「とても嬉しい」、「どちらかといえば嬉しい」と回答している。観光客との接触の割合に関係なく、内子町が観光地として評価されることは、肯定的に受けとめられていることが分かった。

とても嬉しい。	260件	49%
どちらかといえば嬉しい。	214件	41%
どちらともいえない。分からない。	38件	7%
どちらかといえば嬉しくない。	9件	2%
全く嬉しくない。	5件	1%



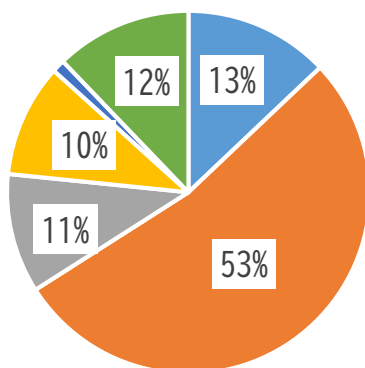
- とても嬉しい。
- どちらともいえない。分からない。
- 全く嬉しくない。
- どちらかといえば嬉しい。
- どちらかといえば嬉しくない。

	内子地区	五十崎地区	小田地区	地区無回答
	307件	154件	58件	7件
とても嬉しい。	158件 51%	69件 45%	29件 50%	4件 57%
どちらかといえば嬉しい。	119件 39%	68件 44%	24件 41%	3件 43%
どちらともいえない。分からない。	20件 7%	13件 9%	5件 9%	0件 0%
どちらかといえば嬉しくない。	7件 2%	2件 1%	0件 0%	0件 0%
全く嬉しくない。	3件 1%	2件 1%	0件 0%	0件 0%

## 7.内子町は観光地として魅力があると思いますか。

- 内子町が観光地として魅力があるか尋ねたところ、66%の人が「とても魅力がある」、「どちらかといえば魅力がある」と回答した。
- 地区別の関係を調べたところ、内子地区が72%となっているが、「五十崎地区」で58%、「小田地区」で55%と、どの地区も半数以上の人が観光地として魅力があると回答した。

とても魅力があると思う。	68件	13%
どちらかといえば魅力があると思う。	279件	53%
どちらともいえない。分からない。	56件	11%
どちらかといえば魅力があると思わない。	53件	10%
全く魅力があると思わない。	6件	1%
無回答	64件	12%



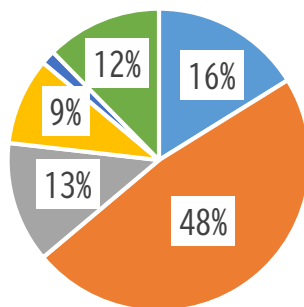
- とても魅力があると思う。
- どちらかといえば魅力があると思う。
- どちらともいえない。分からない。
- どちらかといえば魅力があると思わない。
- 全く魅力があると思わない。
- 無回答

	内子地区	五十崎地区	小田地区	地区無回答
	307件	154件	58件	7件
とても魅力があると思う。	50件 16%	12件 8%	4件 7%	2件 29%
どちらかといえば魅力があると思う。	172件 56%	78件 50%	28件 48%	1件 14%
どちらともいえない。分からない。	32件 11%	17件 11%	6件 10%	1件 14%
どちらかといえば魅力があると思わない。	22件 7%	20件 13%	11件 19%	0件 0%
全く魅力があると思わない。	3件 1%	1件 1%	2件 4%	0件 0%
無回答	28件 9%	26件 17%	7件 12%	3件 43%

## 8.内子町での観光をお勧めしたいですか。

- ▶ 内子町での観光をお勧めしたいか尋ねたところ、64%の人が「とてもそう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた。
- ▶ 地区ごとの関係を確認したところ、内子地区が69%、五十崎地区が54%、小田地区が65%となり、いずれの地区においても半数以上の人が内子町の観光をお勧めしたいと思っていることが分かった。

とてもそう思う。	85件	16%
どちらかといえばそう思う。	251件	48%
どちらともいえない。	68件	13%
どちらかといえばそう思わない。	49件	9%
全くそう思わない。	8件	2%
無回答	65件	12%



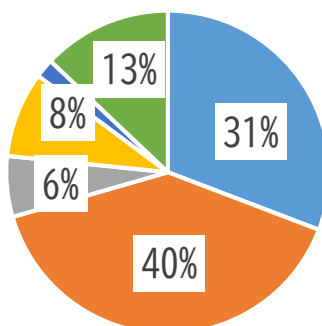
- とてもそう思う。
- どちらかといえばそう思う。
- どちらともいえない。
- どちらかといえばそう思わない。
- 全くそう思わない。
- 無回答

	内子地区	五十崎地区	小田地区	地区無回答
	307件	154件	58件	7件
とてもそう思う。	57件 19%	20件 13%	6件 10%	2件 29%
どちらかといえばそう思う。	154件 50%	64件 41%	32件 55%	1件 14%
どちらともいえない。	42件 14%	18件 12%	7件 12%	1件 14%
どちらかといえばそう思わない。	21件 7%	23件 15%	5件 9%	0件 0%
全くそう思わない。	4件 1%	3件 2%	1件 2%	0件 0%
無回答	29件 9%	26件 17%	7件 12%	3件 43%

## 9.観光客の来訪は、町の活気や経済的な効果につながると感じますか。

- ▶ 観光客の来訪は、町の活気や経済的な効果につながると感じるか尋ねたところ、71%の人が「とてもそう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた。
- ▶ 経済効果への期待についての地区別分析では、小田地区（83%）が最も高く、観光客との接触機会の最も多い内子地区（73%）や五十崎地区（63%）を大きく上回っている。

とてもそう思う。	162件	31%
どちらかといえばそう思う。	209件	40%
どちらでもない。分からない。	32件	6%
どちらかといえばそう思わない。	45件	8%
全くそう思わない。	10件	2%
無回答	68件	13%



- とてもそう思う。
- どちらかといえばそう思う。
- どちらでもない。分からない。
- どちらかといえばそう思わない。
- 全くそう思わない。
- 無回答

	内子地区	五十崎地区	小田地区	地区無回答
	307件	154件	58件	7件
とてもそう思う。	112件 37%	35件 23%	15件 26%	0件 0%
どちらかといえばそう思う。	110件 36%	62件 40%	33件 57%	4件 57%
どちらでもない。分からない。	19件 6%	12件 8%	1件 2%	0件 0%
どちらかといえばそう思わない。	29件 9%	15件 10%	1件 2%	0件 0%
全くそう思わない。	6件 2%	3件 2%	1件 2%	0件 0%
無回答	31件 10%	27件 17%	7件 11%	3件 43%

## 9. 観光客の来訪は、町の活気や経済的な効果につながると感じますか。（年代別）

- ▶ 観光の経済波及効果への期待について年代ごとに分析したところ、10代（100%）や30代（92%）など若い世代ほど期待が高いのに対し、70代（55%）や80代以上（63%）は相対的に低い傾向となっている。
- ▶ しかしながら、どの年代においても50%以上の方が「とてもそう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えており、全ての年代において半数以上の方が観光客の来訪は町の活気や経済的な効果につながると感じている。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	年代無回答
	6件	23件	46件	71件	76件	112件	132件	59件	1件
とてもそう思う。	3件	9件	26件	22件	29件	27件	32件	14件	
	50%	39%	57%	31%	38%	24%	24%	24%	0%
どちらかといえば そう思う。	3件	6件	16件	31件	36件	53件	40件	23件	1件
	50%	26%	35%	44%	47%	47%	31%	39%	100%
どちらでもない。 分からない。		4件		5件	5件	8件	7件	3件	
	0%	17%	0%	7%	7%	7%	5%	5%	0%
どちらかといえば そう思わない。		3件		6件	2件	10件	21件	3件	
	0%	13%	0%	8%	3%	9%	16%	5%	0%
全くそう思わない。			3件	3件		1件	3件		
	0%	0%	6%	4%	0%	1%	2%	0%	0%
無回答		1件	1件	4件	4件	13件	29件	16件	
	0%	5%	2%	6%	5%	12%	22%	27%	0%

## 10.観光客が内子町に訪れることで困っていることはありますか。

- ▶ 観光客が内子町に訪れることで困っていることについて、日本人観光客、外国人観光客ともに「困っていることは特にない」との回答が約7割を占め、深刻なトラブルは限定的である。
- ▶ 課題を感じている層からは、「生活道が混雑して通れない（7%～8%）」が最も多く、次いでゴミの問題や敷地内への侵入が挙げられている。

### ▼日本人観光客により困っている内容

イベントで生活道が通れず困る時がある。	23件	4%
観光客で生活道が混雑して通れない。	45件	8%
観光客が多く飲食店が混み合って困る。	5件	1%
観光が原因の騒音により困っている。	0件	0%
観光客がゴミを散らかして困っている。	16件	3%
敷地内(宅地・農地など)に観光客が勝手に入ってきた。	13件	2%
建物・家などを壊されたことがある。(落書きを含む。)	0件	0%
観光による光害(※1)を受けている	0件	0%
その他	9件	2%
困ることは特にない。	394件	70%
影響はあるが許せる範囲である。	55件	10%

### ▼外国人観光客により困っている内容

イベントで生活道が通れず困る時がある。	34件	7%
観光客で生活道が混雑して通れない。	40件	8%
観光客が多く飲食店が混み合って困る。	5件	1%
観光が原因の騒音により困っている。	3件	1%
観光客がゴミを散らかして困っている。	12件	2%
敷地内(宅地・農地など)に観光客が勝手に入ってきた。	6件	1%
建物・家などを壊されたことがある。(落書きを含む。)	1件	0%
観光による光害(※1)を受けている	0件	0%
その他	6件	1%
困ることは特にない。	345件	67%
影響はあるが許せる範囲である。	61件	12%

※1 光害（こうがい・ひかりがい）

観光分野での不適切な人工照明により生じる環境や人への悪影響をいいます。  
過剰なライトアップにより近隣住民の生活環境や野生動物に影響を与える場合や、ネオンや外照明等により、近隣住民の睡眠障害を引き起こしている場合などが例として挙げられます。

## 11.内子町が持続可能な観光地(※2)として重点的に取り組むべきこと。

- ▶ 内子町が持続可能な観光地(※2)として取り組むうえで、重点的に取り組むべきことについて尋ねたところ、住民が最も重視しているのは「町並景観や自然景観の保全と整備」(20%)であった。
- ▶ 次いで「飲食店の充実」(12%)、「観光産業の担い手確保と育成」(11%)が続いている。

町並景観や自然景観の保全と整備	269件	20%
観光客のマナー啓発・対策・未然防止	92件	7%
観光産業の担い手確保と育成	140件	11%
アクティビティや体験メニューの充実	63件	5%
観光案内板や誘導板の整備	83件	6%
伝統文化や伝統工芸の振興	123件	9%
域内交通対策(町内交通アクセスの向上)	93件	7%
宿・宿泊施設の充実	123件	9%
飲食店の充実	162件	12%
お土産品・お土産店の充実	123件	9%
日本人旅行者と地域住民とのふれ合う機会の提供	36件	3%
外国人旅行者と地域住民とのふれ合う機会の提供	17件	1%
その他	9件	1%

### ※2 持続可能な観光

持続可能な観光とは、観光に関する取組みを国際基準に照らしてマネジメントしていくことにより観光を、社会経済、文化、環境などにおいて持続させていくことをいいます。

地域の観光資源である伝統や風習、文化遺産や自然環境などを守りながら観光による経済効果を循環させ、次世代へ豊かな地域を紡いでいくことを目指します。

近年全国的な問題となっている、オーバーツーリズムを防止・抑制することなども含まれます。